

## 生物多様性保全への取組み(6)

### ■ 生物多様性が失われると私たちの暮らしはどうなりますか？(Q)

柱や家具、鉢植えの植物などさえなくなってしまう。

私たちの暮らしと生物多様性のつながりを探してみましょう。

- まず、一戸建ての木造住宅に住んでいる場合は、家の柱などに木材がたくさん使われています。家具や生け垣にも木や竹が使われています。また庭がある場合には、その庭にさまざまないきものがやってきます。庭木の花や実にチョウやハチ、鳥が集まり、茂みにカマキリが、石垣にヘビが、軒下にスズメや、ツバメが巣をつくることがあります。このように、人間以外のいろいろな生物や、生物からつくられた家や製品に囲まれて暮らしていることに気づかれるでしょう。
- マンションに住んでいる場合はどうでしょうか。建物も鉄筋コンクリートですし、庭もないし、一見、生物多様性とは全く縁がないように思えるかもしれませんが、でも、カやハエに困ることもありますし、ベランダにハトやカラスがやって来たりします。鉢植えの植物などをベランダで育てている人は、近くの公園などからもっといろいろないきものがやってくるのではないのでしょうか。ハンガーで巣をつくるカラスや都会のビルで子育てするハヤブサなど、野生動物も都市化する環境に適応している姿も見られます。
- 最近では、庭木にその地域に生育する植物を植えて、積極的に地域のさまざまないきものが棲める環境をつくっていかうという動きがあります。そもそも日本には伝統的な造園技術があり、美しい家と庭園を大切にしてきた文化が、ありますが地域の生物多様性への貢献にも着目した家づくりをすることで、私たちの暮らす環境がいつそう豊かになるのではないのでしょうか。

—出典：生物多様性100問—